

森劇スタディー報告

2021.5.27 (木) 10:00~12:00 大三公民館 (記:森松)

参加者: 10名 / 井谷・長野・市川・坂口・深田・森松・森下・野崎・笠松・吹上 (10時半)

参加費: 笠松・森松企画運営最初のスタディだった為、無料。

1. 長野先生による体操

2. 今年度のスタディ担当者(笠松・森松)より挨拶と連絡(メール連絡のこと・会費のこと)

3. 今年度の森劇通信の作成を笠松・森松で作成するという連絡

4. 活動報告 (長野)

添付資料やホームページ参照

- ・活動説明会
- ・森劇通信
- ・amagaL
- ・子ども里山そうぞう学校チラシ
- ・well being

森劇通信を読んで、「参加は物理的に難しいが、森劇の活動に賛同するので協力費を払うよ。」と言ってくださる方がいた。

活動を見て、少しずつネットワークが繋がっていっている。ゴールのない活動なだけに、一つの評価として大変心強かった。

文化庁の予算を使って地元の中学校に劇団の公演を紹介した。申込期日が迫っていたので実現はしなかったが、

改めてコーディネーターの必要性を感じた。

地元の劇場のコーディネーターが、たくさんある省庁の助成金等で適した舞台芸術を地域の学校や施設と繋ぐ必要性を感じた。

公共の福祉として公立劇場の役割になるのではないか。

5. 野崎和美さんによる自立事業「オハヨガ」について ※詳細はホームページをご覧ください。

6. 「最近気になること。。」 フリートーク

「報道について」

自粛自粛と言われ、家にいるとついテレビをつけていることが多くなり

テレビの中の人たちは「コロナは危ない」「早くワクチンを!」などなど連日言っていて、少し違う意見が出ても流れされ世の中は洗脳の様な状態になっている。

そんな時こそ、テレビは消して、本でも読んでみたり、借りて来たDVDや、今は便利な映画サイトもあるのでそっちを楽しみながら、コロナについては自分なりに興味のある分野で理解していくこうと思っています。(森松)

「何のために今これをしているのか。大人も子どもも何も考えない。」

子育て真っ最中のママの話を聞いていると、自分の子育てを振り返る。

もっと子どもが自分から動き出すまで待ってやれば良かったのかな~。(笠松)

「日頃緊張しますか?」

最近、初めましての人に会った後、すごい眠気がきます。

知らず知らずにとても緊張しているのかも。

みんなの緊張する場面を聞いていたら、全部自分にもあてはまり、みんな同じなのだと思いました。

そして、緊張するということは、健康面でも大事なことなんだと教えてもらい、

緊張は良いことだと思えるようになりました。(森松)



気持ち良い体操



フリートーク